

新年のご挨拶

「株式市場が“日銀中毒”に…」との新聞

記事（11月21日付毎日新聞経済面）に驚きました。日銀、日本の「最大株主へ」…ETF買い、10年で40兆円…年内にも「年金」を逆転？…といった見出しに続きユニクロの株式約20%保有…と目を疑う内容です。多くの銘柄の株式をまとめた上場投資信託（ETF）の購入で、公的年金の積立金を運用する年金積立管理運用独立行政法人（GPIF）を上回る見通しだといえます。



12年前のリーマンショックの後、デフレ克服のためと称して国内に供給するお金の量を増やす金融緩和策の一つとして10年前に当時の白川日銀総裁が主要国の中央銀行でもやっていないETF購入を決定。「過去にない異例の措置」として約4500億円を年間購入額の上限と設定したものの、その3年後には約1兆円、4年後には約3兆円、6年後には約6兆

円、そして10年後の昨年3月には12兆円に上限UP。金融のプロは「本来は投資家（株主）の思惑や業績見通し等が混ざり合って形成される株価が、“物言わぬ株主”の日銀による大量購入でゆがめられ市場に悪影響が出る“日銀中毒”に…」と指摘します。つまり経営者の危機感がなくなり低採算事業からの撤退を先送りしがちになる…と危惧しています。日銀はこれまで購入したETFを売却したことがなく、売却に踏み切れば株価を押し下げる要因となるため「日銀にとって非常に難しい問題」になりかねないとも言います。日本の中央銀行の信頼度が低下すると貨幣価値の下落につながる恐れが…。

円、そして10年後の昨年3月には12兆円に上限UP。金融のプロは「本来は投資家（株主）の思惑や業績見通し等が混ざり合って形成される株価が、“物言わぬ株主”の日銀による大量購入でゆがめられ市場に悪影響が出る“日銀中毒”に…」と指摘します。つまり経営者の危機感がなくなり低採算事業からの撤退を先送りしがちになる…と危惧しています。日銀はこれまで購入したETFを売却したことがなく、売却に踏み切れば株価を押し下げる要因となるため「日銀にとって非常に難しい問題」になりかねないとも言います。日本の中央銀行の信頼度が低下すると貨幣価値の下落につながる恐れが…。

大丈夫か？株式中毒？日銀の信頼度



ねないとも言います。日本の中央銀行の信頼度が低下すると貨幣価値の下落につながる恐れが…。

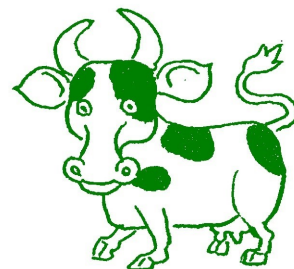
ねないとも言います。日本の中央銀行の信頼度が低下すると貨幣価値の下落につながる恐れが…。



新型コロナ同様、今年もボーンとしちゃいられませんね。さあ今日は仕事始め。本年も職員一同、力を合わせて頑張らせて頂きます。

(2021.1.6)

濱田・西馬行政事務所連絡室
 （西馬行政総合事務所）
 （濱田行政書士事務所）
 TEL0977-23-5463 FAX 0977-24-1806
 <FAXは平日と土曜の6:30~20:00受信可能>
 ※ 緊急時の連絡はIP 050-3626-3645へ



ご鄭重な賀状を当事務所へお出し頂いたお客様には、当『豆ニュース』をもちまして、ご返礼の書状に替えさせていただきます。誠にありがとうございました。本年も宜しくお願いいたします。